

作成日：R7年10月20日

令和7年度第4回 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会議事録

| | |
|-------|--|
| 日付 | 令和7年10月17日(金) |
| 時間 | 9:30 ~ 11:30 |
| 開催会場 | かがわ総合リハビリテーション福祉センター第1研修室 |
| 参加機関等 | 地域活動支援センタークリマ、高松市健康づくり推進課、ライブサポートセンター、障害者生活支援センターたかまつ、東讃保健福祉事務所、障害者地域生活支援センターほとと、ピアサポーター、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点、香川県精神保健福祉センター、香川県障害福祉課、大西病院、三木町福祉介護課 順不同 計12機関 |

議題1：情報提供

| | |
|----|--|
| 議事 | <ul style="list-style-type: none">・地域移行支援に関してトライ&エラーを繰り返しながら支援を継続していくという認識を、病院、ご家族、福祉支援者などと共有しながら粘り強く続けていきたい。・三光病院—オフラインキャンプ、オータムフェスティバル実施。今後、12/20,21 アディクションアカデミー、11/29,30 中四国アルコール問題関連学会開催予定。・強迫性障がいのある方についてヘルパーの派遣・アンダンテ（県引きこもり地域支援センター）祭り 11/15 開催・にも包括 WG12/22 開催予定 23 |
|----|--|

議題2：精神科病院の現状と課題を共有

| | |
|----|----------------|
| 議事 | 医療保護入院について意見交換 |
|----|----------------|

議題3：ピアサポート活動推進委員会の報告

| | |
|----|--|
| 議事 | ホームページの更新の話あり。現在、ピアのページが精神保健福祉部会や地域のお役立ち情報の奥まったところにある。ピアサポーターというカテゴリーで作って盛り込めないか。ピアサポーターからのメッセージや、ピアを受けた人の声、リーフレット、参考図書、外部とのリンクなど。 |
|----|--|

| | |
|--|---|
| | 精神保健福祉部会だけでなく、身体障がい者支援部会とで作ったものなので、その確認も必要。手順、費用がどれくらいかかるのか確認し、提案させていただく。 |
|--|---|

| | |
|--------------------------|--|
| 議題 4：保健・医療・福祉の連携企画委員会の報告 | |
| 議事 | 現在申し込み締め切り。49名申し込みあり。一人2分で考えていたが、それではオーバーハスする可能性あり。2分から1分半くらいに変更。所属がある程度分散している。当日12:30集合。スクール形式で開催。五十音順でそれぞれ発言いただき、その後は交流の場として開放していく。この交流の場がメイン。 |

| | |
|----------------------------|--|
| 議題 5：高齢者福祉分野との連携に関する委員会の報告 | |
| 議事 | <ul style="list-style-type: none"> ・高松市の訪問看護事業所との連携について11月で会場を抑えているので、これから詳しく決めていく。予定としてロールプレイ、グループワークを行っていく。 ・7月には訪問看護連絡会にて案内済。 |

| | |
|----------------------------|-------------|
| 議題 6：ピアサポーター・スーパーバイザー派遣の報告 | |
| 議事 | 派遣について報告あり。 |

| | |
|----------|--|
| 議題 6：その他 | |
| 議事 | <p>○令和8年、9年の部会の体制について9月の運営会議で方向性を報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会長、サブリーダーを決める。 <p>各委員の変更の可能性あれば話をしておいてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな方に役割を担ってほしい。現段階で分かっている場合は報告をお願いしたい。 |

令和7年度第4回精神保健福祉部会

日時：令和7年10月17日（金）9：30～11：30

会場：かがわ総合リハビリテーション福祉センター 2階 第1研修室

参加者：

内容：

① 必要に応じて自己紹介とみなさまからの情報提供

（◆タイミング的に情報提供のない場合には、今、ご自身の気になっている課題、職場内の旬の話題などについて、一言をお願いできればと思います。）

② 医療機関の現状や課題について共有

③ 各委員会からの報告と意見交換など

医療と福祉の連携委員会

高齢者福祉分野との連携委員会

ピアサポート活動推進委員会

次回 12月19日（金） 9：30～11：30

次々回 2月20日（金） 9：30～11：30

R8年度4月以降も偶数月第3金曜日9：00～12：00で同会場予約済み

令和7年度 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会
第7回 保健と医療と福祉の連携企画委員会（ランコントロール）

| | |
|------|--|
| 日時： | 令和7年10月9日（木） 15：30～17：00 |
| 場所： | 福祉コミュニティーセンター高松西館 2階小会議室 |
| 参加者： | 障害者生活支援センターほっと、香川県精神保健福祉センター、ライブサポートセンター、相談支援事業所 We、障害者生活支援センターたかまつ、高松市社会福祉協議会、地域活動支援センタークリマ、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 計 8名 |
| 内容： | <p>1. 訪問型企画</p> <p>○病院案内進捗報告</p> <p>○企画内容 ⇒申し込みのあった企画について今後検討していく。</p> <p>① 基幹センター紹介：</p> <p>② 地域移行紹介： 地域移行の指定をとっている事業所（13か所）をあたっていく。</p> <p>③ 相談支援事業所訪問： 現在参加希望4か所 11月の相談支援部会で案内していく。</p> <p>④ 出張型ミニ精神保健福祉部会 in「〇〇病院」： 10/17の部会で参加の声をかける。 訪問看護、ピア（2名で）にも参加してもらう。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大川圏域の参加については、10月10日（金）の大川圏域地域自立支援協議会精神保健福祉部会のコア会議（ペンタゴン会議）で周知してもらうよう手配する。 ・自己紹介シートの検討（訪問側は人となりプラスして連携に資する思いの部分を入れる。病院側にも簡単な自己紹介シートを作成してもらう） <p>○今後のスケジュール</p> <p>10月末申込〆切 ⇒11/10の委員会で今後の日程など決めていく ⇒11月の相談支援部会で案内 ⇒12月～2月実施</p> <p>【次回予定】令和7年 11月10日（月）15：30～17：00 場所：福祉コミュニティーセンター高松西館 2階小会議室</p> |

令和7年度 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会
第6回 保健と医療と福祉の連携企画委員会（ランコントロール）

| | |
|------|--|
| 日時： | 令和7年9月19日（金） 10:00～11:30 |
| 場所： | 福祉コミュニティセンター高松西館 2階小会議室 |
| 参加者： | 障害者生活支援センターほっと、香川県精神保健福祉センター、ライブサポートセンター、相談支援事業所 We、障害者生活支援センターたかまつ、高松市社会福祉協議会、地域活動支援センタークリマ、香川県障害福祉課、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 計 9名 |
| 内容： | <p>1. 集合型自己紹介企画ふりかえり アンケートの回収率良かった。反応も良好。（アンケート参照） トイレのアナウンスを入れた方がよかった。出入り自由等。 冒頭、企画の目的や成り立ちを入れ、協議会の取組も知ってもらえる機会となった。 人となりを知るといふ今回の目的に沿った内容となった。 名刺交換の時間をとり、お互いが顔見知りになる機会や新規で立ち上げた事業所の営業の一助にもなった。 費用削減のためのカラー写真を別紙で印刷し各自で張り付ける策は良いアイデアであった。</p> <p>2. 訪問型企画 ○今後のスケジュール： 8月のワークショップにて案内後→相談支援事業所の意向確認（9月中旬）→病院への案内（10月）→訪問型ランコントロール4企画実施（11～1月） アンケート結果も踏まえ、企画案を10月中旬に医療機関へ周知。 9月18日（木）相談支援部会で周知 ○病院への案内 担当振り分け ○企画内容 ① 基幹センター紹介： ② 地域移行紹介： ③ 相談支援事業所訪問： ④ 出張型ミニ精神保健福祉部会 in○○病院：（精神保健福祉部会で行っている内容と同様で自己紹介と、情報共有の時間をもち、協議会の取組等を伝えながら病院の課題についても共有していく時間とする。） 病院への説明、意向が分かり次第、参加希望者との内容を詰めていく。 10月～病院へ説明。実施期間を12月～2月まで。 【次回予定】令和7年10月9日（木）15：30～17：00 場所：福祉コミュニティセンター高松西館 2階小会議室</p> |

令和7年8月25日(月)ランコントロール特別企画

保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップ アンケート

1. 今回のワークショップはいかがでしたか。当てはまる番号に○をつけてください。
よろしければ()内にその理由もお書きください。

| | |
|----------------|-----|
| 1 大変有意義だった | 27名 |
| 2 まあまあ有意義だった | 4名 |
| 3 あまり有意義ではなかった | 0名 |
| 4 全く有意義ではなかった | 0名 |
| 5 選択なし | 1名 |

・会ったことがない人、電話でしか話したことのない人、名前だけ知っている人の顔が見え、交流・挨拶ができて良かった。

・新しく知った方も多く、新たなつながりができて良かった。

・電話や業務的な関わりだけの方の仕事以外の話も聞けて、人となりが分かったのが良かった。今後の業務に生かしたい。

・実際にお会いでき、いきいきとした連携イメージが湧いた。

・たくさんの方の思いや意気込みをお聞きできて、襟を正す機会になった。

・ピアサポーターとして参加。皆さん温かくお話しさせていただいて良かった。

・自己紹介や交流を経て、連携のハードルが下がったように思う。

・たくさんの方の職種の方や、知らなかった事業所を知ることができて良かった。

・普段会えない病院関係、訪問看護の人と話をすることができた。

・精神福祉分野のあらゆる方向の関係者に、自己紹介がてら接触する機会をもらい、大変有意義な時間だった。

・自己紹介の時間が長すぎると感じた。マイブームとか興味なし。

・直接会う機会ができたことで、今後安心してやりとりができる良いきっかけになった。

2. その他、今回のワークショップに対するご意見や今後行ってほしい企画などがあればお知らせください。

・間でトイレ休憩があるとありがたい。

・貴重な機会だった。ぜひ定期的には開催していただきたい。いろいろな機関や事業所が参加したらいい。

- ・同じワークショップが来年もあれば、今回来られなかった方も参加できて良いと思う。
- ・他機関との交流の場はなかなかなく、貴重な場であり体験だったなど思った。
- ・事業所の詳細等を知れたらいいと思う。
- ・就労支援事業所の紹介。
- ・名刺交換の時間を増やしてほしい。また機会があれば参加したい。
- ・名刺交換のみで良い。
- ・このWSきっかけで「有機的な連携ができたよ」といえるように頑張るので、皆さんからも報告が聞けたらいい。
- ・各方面の関係機関の方々と、グループとなって体験談や今考えている問題について話したい。

連携訪問企画「ランコントロール」に関するアンケート

| | |
|---------------------------|----|
| 1 高松市障がい者基幹相談支援センターの紹介 | 6名 |
| 2 地域移行支援事業所の紹介 | 7名 |
| 3 計画相談支援事業所の紹介（新） | 9名 |
| 4 出張型ミニ精神保健福祉部会 in〇〇病院（新） | 5名 |

医療・福祉等の連携訪問企画 『ランコントロール（出会い）』 実施要綱

◆目的

精神科医療と福祉サービスの連携をスムーズに行うために毎年開催してきた連携ワークショップを引継ぎ、各病院のニーズに応える形で地域支援者が病院訪問し、より地域移行が円滑に行われるための関係作りを構築する。

ランコントロールとはフランス語で「出会い」の意味で、改めて地域と病院が出会い直し共に精神障害者の地域生活支えていく一助とする。

「私はこういうものです」「何かお手伝いできることはありませんか？」→「ここにこんな人がいたんだ」「よし次からこの人に電話してみよう」を実現する企画とする。

◆内容

R5 年度行なった病院地域連携室への聞き取りおよび R6 年度に実施した本企画を基に、4つのプログラムを用意し、病院の希望するものを提供する。

- ① 基幹相談支援センターの紹介
- ② 地域移行支援ができる相談支援事業所の紹介
- ③ 計画相談支援事業所の紹介
- ④ 出張型ミニ精神保健福祉部会 in○○病院

支援者同士が交流できるようなワークショップを盛り込む。

※所要時間は1回につき60～90分を目安とするが、プログラム構成等も踏まえ適宜変更可能とする。

◆日程

日時や時間は、病院の希望に合わせ R7 年 12 月～R 8 年 2 月に実施
(10月に医療機関に案内訪問、10月末に申し込み締め切り予定)

◆案内先

高松圏域内の精神科病院長（いわき病院、大西病院、三光病院、馬場病院）宛てに案内。
地域連携室（病院相談員）向けの少人数での企画とする。

◆プログラム

① 基幹相談支援センターの紹介

高松圏域の8つの基幹相談支援センター担当者が来訪し、地域の特色や基幹で地域移行の役に立てることの紹介をしながら交流する。

② 地域移行支援ができる相談支援事業所の紹介

地域移行支援の内容の確認と手続きの流れの紹介。引き受けられる事業所を紹介しながら交流する。

③ 計画相談支援事業所の紹介

障害福祉サービスの利用に欠かせない計画相談を担う相談支援専門員の方々と訪問し、各事業所や相談員自身を紹介しながら交流する。

④ 出張型ミニ精神保健福祉部会 in〇〇病院

精神保健福祉部会からメンバーを選定して訪問し、従来の精神保健福祉部会と同様に情報交換・意見交換を行う。

◆ 申込方法

- ・ 所定の申込用紙に希望するプログラムや実施希望日時等を記入する。
- ・ 申込みは、障害者地域生活支援センターほっと宛てに FAX で行うものとする。

FAX 番号：087-840-3769

(申込用紙受理後、詳細の打ち合わせの電話にて行う)

◆ 参加費

無料

以上

連携訪問企画

医療と福祉の支援者同士が出会い

精神障害者の地域生活を支える

REIN CONTACT

ランコントロール

精神科医療と福祉サービスの連携を円滑にするため、毎年開催しておりましたワークショップ。今年度も訪問企画として地域連携室の相談員さん等を対象に地域支援者をご希望内容に応じてお伺いします。

支援者同士の顔みえる関係づくりの機会としてぜひご活用ください！

01 高松市障がい者基幹相談支援センターの紹介

各エリアを管轄している8つの地域拠点の担当者が訪問し、地域の特色や地域移行支援のどんなことでお役に立てられるかを紹介しながら交流します。

02 地域移行支援事業所の紹介

地域移行支援の内容確認と手続きの流れを紹介し、支援を行っている事業所を紹介しながら交流します。

03 計画相談支援事業所の紹介

障害福祉サービスの利用に欠かせない計画相談を担う相談支援専門員の方々と訪問し、各事業所や相談員自身を紹介しながら交流します。

04 出張型ミニ精神保健福祉部会 in ○○病院

精神保健福祉部会からメンバーを選定して訪問し、従来の精神保健福祉部会と同様に情報交換・意見交換を行います。

内 容 上記4つのプログラムから希望するものがあれば選択

日 程 令和7年12月～令和8年2月の期間中
(希望する日時で調整)

所要時間 約60分～90分

参加費 無料

社会福祉法人 翠睦福祉会
障害者地域生活支援センターほっと 遠藤 宛
FAX 087-840-3769

連携訪問企画FAX申込書

| | |
|----------------------|--|
| 所 属 | |
| ご 担 当 者 | |
| 連 絡 先 | |
| 希望するプログラム (番号を記入) | |
| 希 望 す る 日 時 | |

ご質問・ご要望がございましたらご記入ください。

申込受理後、詳細につきましては遠藤よりご連絡をさせていただきます。

<問い合わせ先>
社会福祉法人 翠睦福祉会
障害者地域生活支援センターほっと 遠藤
T E L 087-840-3770

1. 日時：令和7年10月8日(水) 10:00~11:30

2. 場所：福祉コミュニティセンター高松東館

3. 出席者：

- ・高松市訪問介護事業所連絡会より2名
- ・高松圏域自立支援協議会精神保健福祉部会高齢者福祉分野との連携に関する委員会
高松市地域包括支援センター勝賀・高松市健康づくり推進課精神保健係
高松市障がい福祉課・大西病院・相談支援事業所 We・相談支援事業所 La pause
高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

4. 議題：研修内容の共有

別紙にて研修全容あり

主な議論

講義及びテーマについて)

- ・講義内の事例紹介については傾聴対応することで乱暴な言動がなくなっていったケースを紹介したい。妄想はなくなっていないが、乱暴な言動がなくなれば、(妄想を話されたとしても)対応できる可能性が高くなることを伝えたい。
- ・より幅広く参加いただくために「精神障がいへの対応」と打ち出さずに、「広く人間関係に使えるコミュニケーション」をテーマとするなど、テーマを再考してはどうか？
→医療の立場ではない私たちにできることとして、参加者が興味を持つところではないか？またGWに続いてくことを考えると、「広く人間関係に使えるコミュニケーション」となると拡がりすぎるかもしれない。
→「高齢になった精神疾患を抱える人の特徴と対応について～サブテーマ検討中～」をテーマとして、研修全体は下記のとおりとする。

『高松市指定訪問介護事業所連絡協議会R7年度第2回研修会

高齢になった精神疾患を抱える人の特徴と対応について～サブテーマ検討中～』

→高松市訪問介護事業所連絡会から会員へのご案内発信の際に「広く人間関係に使えるコミュニケーション」としてもお声かけいただく。

グループワークについて)

- ・「それはヘルパーの仕事じゃない」という意見が出て良いと思う。それが最後はそれぞれが「ちょっとでも耳を傾けてみようか」という気持ちになってくれればいい。
→そこに向けてディカッションするために「ディカッションする内容 i 講義を聞いて、今、思うこと ii 事例を通して考えること (これまで経験した良かった対応、困ったこと等も) iii 自分だったらどうする？」がポイント
- ・ヘルパーの疑問に「こんな対応ではどうでしょうか？」というアイデアをお伝えしたい。

Ex)「決められた時間ですべき家事が決められていて話を聞いてあげる時間がない」→「作

業療法を例に、何か作業をしながら話をする効果もあることをお伝えする。

→『聞いて欲しいという気持ち』と『家事をしなければならぬという気持ち』の葛藤をどうしましょうか?』と投げかけるという手もある。

・事例シートに「ディスカッションする内容 i 講義を聞いて、今、思うこと

ii 事例を通して考えること（これまで経験した良かった対応、困ったこと等も） iii 自分だったらどうする?」を記載。各G記録係はそれに記載、

・グループディスカッション進行について。流れ、グラドルールを説明した後、発表者と記録者を指定（Ft.右が発表、左が記録）。自己紹介（氏名と所属）をしたあと、ディスカッションへ。

案内等)

・10/21 高松市訪問介護事業所連絡会企画会議で申し込み締め切り決まるので11/4の週中

i) 5人上限で経験バランスよくグループ編成 ii) 案内時に募集した事前質問 を高松市訪問介護事業所連絡会から事務局まで送付。事務局にて委員会メンバーへ送信し共有。担当ファシリ決定、最終資料は事務局にて印刷。

・アンケート＝高松市訪問介護事業所連絡会で従来使用しているアンケートの「講師の印象評価」を削除し実施、取りまとめ分を高松市訪問介護事業所連絡会から川村まで。

| | 時間 | 内容 | 役割分担 |
|---|-----|--|-----------------------------------|
| 1 | 5分 | 挨拶 自立支援協議会、精神保健福祉部会等の説明 研修目的の説明 | 高松市訪問介護 事業所連絡会→ (司会) → (挨拶) |
| 2 | 30分 | ①講義 ・「高齢になった精神疾患を抱える人の特徴と対応について～サブテーマ検討中～」 (20分) ・支援の実際について事例紹介 (5分)。 ②質疑応答 (5分)。 | |
| 3 | 45分 | グループディスカッション ①事例検討の提示 (5分) 流れ、グラドルールを説明した後、発表者と記録者を指定 (Ft.右が発表、左が記録)。自己紹介 (氏名と所属) をしたあと、ディスカッションへ。 ②各グループで話し合い (30分) 記録係は記録用の事例シートに記録する。 自己紹介 (氏名と所属) をしたあと、ディスカッションへ。 ディカッションする内容 i 講義を聞いて、今、思うこと ii 事例を通して考えること (これまで経験した良かった対応、困ったこと等も) iii 自分だったらどうする? (正解はないが、症状の根底にあるものを理解し、対応の考え方を学んでアプローチ方法を検討してもらう)。 ③発表 (10分) 各グループから話し合いで出た意見を発表し共有。G数によっては全G発表しないかもしれない。 | 全体進行 ファシリテーター: |
| 5 | 5分 | 総評、まとめ | |
| 6 | | 終わりの挨拶、アンケート回収 | 高松市訪問介護 事業所連絡会 |
| | | | |

令和7年度 第3回 ピアサポート活動推進委員会

日時：令和7年10月10日(金) 14:00～15:30

場所：香川県高松合同庁舎4階第2会議室

参加機関：ピアサポーター3名、香川県精神保健福祉センター、香川県障害福祉課、障害者
地域生活支援センターほっと、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

1 ページレイアウト

○copilot版(項目立てが分かりやすい) ○Gemini版(中身が分かりやすい)

★copilotの項目立てを使い、中身はGeminiを使用

★1ページ1スクロールを考えれば、copilotでも可

★成立経緯(Gemini⇒copilot)を考えれば、copilotを骨格にする

【業者との打ち合わせ参考事項】

○見やすさ：見出しー概要ー詳細 ○予算優先：もぐりこみ少なくする

【掲載内容について】

○掲載順番

①障害者ピアサポートとは

②高松圏域における障害者ピアサポートの活動例

「電話やオンラインでの～」は削除

③障害者ピアサポートのメリット

・1～4は各ページが必要(それぞれ150字程度)

※「リカバリー」「ストレングス」等、書籍を読んでブラッシュアップ(項目の整理と文章校正)

(③と④の間の挿入項目)

・ピアメッセージ(精神・身体)

・受け手の声(県：精神 基幹：身体)

・支援者の感想(個別支援を受けた方の支援者の声(その中で利用者のコメントも入れる))

④障害者ピアサポーターになるには(募集)

・Gemini版の文言を使う

⑤障害者ピアサポートの利用にあたって(Gemini版の「4」をもってくる)

⑥問い合わせ(県・基幹に限定)

⑦リンク(リンク切れに注意 ※原則公的なものに限ったほうがよい)

2 今後のスケジュール

- ・次回までに、「障害者ピアサポートのメリット」の原稿案を作成
- ・10月21日、業者相談
- ・11月中旬頃までに業者相談を受けて、予算と照らし合わせた状況を共有
- ・HP更新のゴール時期を設定（今年度中もしくは来年度持ち越しか）
- ・上記状況を踏まえ、12月開催時（次回）に意見を出し合う

3 次回委員会日程

12月4日（木）14時00分～15時30分

（精神保健福祉センター（高松合庁）4階会議室）

4 その他

○障害者ピアサポート研修に係る指導者研修報告（樋園さん・松本）

・主に「相談支援」や「就労継続支援B型」等で雇用されている障害者ピアサポーター及び事業所管理者がペアで受講することにより、事業所を利用されているピアサポートの推進を行うとともに事業所の加算を行うもの。

・当県において現在来年度予算化に向け調整中であるが、仮に予算措置がついた場合は実施規模や協力体制構築等、課題は多いため、今年度中から検討委員会の設置を考えている。

・上記対象事業所以外の既登録ピアサポーターの受講（聴講）の可否については今後検討。

・例年実施している「障害者ピアサポーター養成研修」は引き続き単体で実施する予定。一方、ネーミングによる誤解を防ぐための検討を行う。

・事業化（予算化）された場合は改めて周知することとする。

高松圏域 障害者ピアサポート情報

地域で支え合う、障害のある方のための安心サポート体制

障害者ピアサポートとは

「ピア (Peer)」とは「仲間」「対等」を意味します。障害者ピアサポートとは、同じ障害を持つ当事者同士が、互いの経験を分かち合い、支え合う活動です。専門職による支援とは異なり、同じ境遇を体験した「仲間」だからこそわかり合える悩みや気持ちがあります。当事者の体験談に耳を傾け、自らの経験を語り合うことで、問題解決のヒントを見つけたり、安心感を得たりすることができます。

ピアサポートは、以下のような点で大きな力を発揮します。

- **共感と安心感:** 自分のつらい経験が誰かの役に立つことで、自己肯定感が高まります。
- **主体性の向上:** ピアサポーターとの交流を通じて、主体的に生活課題に取り組む意欲が生まれます。
- **社会参加のきっかけ:** 仲間との交流は、地域で孤立することなく社会とのつながりを保つ機会となります。

高松圏域における障害者ピアサポートの活動例

高松圏域自立支援協議会では、障害のある方々が地域で自分らしい生活を送れるよう、ピアサポート活動を推進しています。精神障害、身体障害、知的障害など、さまざまな分野のピアサポーターが活動しています。

活動内容の例:

- **個別相談・同行支援:** 一人ひとりの状況に応じて、日常生活での困りごとや地域生活への移行に関する相談に応じたり、病院への同行などの支援を行ったりします。

- **体験談の発表:** 自身の経験を語り、同じ障害を持つ仲間や地域社会との相互理解を深めるための活動です。
- **居場所づくり:** ピアサポーターや当事者が集い、自由に交流できる居場所を自主的に運営する活動も行われています。
- **関係機関への協力:** 地域の施策や事業に当事者の声が反映されるよう、関係機関との連携を深める活動も行っています。

障害者ピアサポートのメリット

1. 同じ障害や似た経験を持つ人から共感的な支援が受けられる
2. 障害に関する悩みや不安、孤立感を分かち合える
3. 障害当事者ならではの実体験に基づく具体的なアドバイスが得られる
4. 自分の経験が他の障害者の役に立つことで、自己肯定感が高まる

「精神障害者ピアサポート専門員養成のためテキストガイド」参照

4項目を150字以内にまとめる

ピアサポーターからのメッセージ

- ・精神障害者ピアサポーター
- ・身体障害者ピアサポーター

ピアサポート受け手の声

- ・集団派遣の受け手
- ・個別支援の受け手の支援者
- ・支援者の感想の中で利用者の声を載せる

障害者ピアサポーターになるには？

高松圏域のピアサポーターは、香川県が主催するピアサポート研修を修了し、登録された方々です。ピアサポーターとして活動したい方は、ぜひ研修への参加をご検討ください。

ピアサポートの利用を希望する方へ

「同じ境遇の人と話してみたい」「地域での暮らしについて相談したい」といった思いを持つ

方は、高松市障がい者基幹相談支援センター（高松圏域自立支援協議会事務局）へご相談ください。ご相談の内容に合わせて、専門のピアサポーターの派遣を調整します。

参加方法ーお問い合わせ

高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点（事務局）

連絡先：087-880-7012

関連リンク・参考情報

- リーフレット
- リーフレット
- 香川県公式サイト
- 高松市障がい者基幹相談支援センターサイト